

平成 28 年度

学校法人 昭和大学 事業計画



学校法人 昭和大学

はじめに

学校教育法等の一部が平成 27 年 4 月 1 日に改正され、本学においても「理事長・学長のリーダーシップのもとで戦略的な大学運営を可能にするためのガバナンス改革」に取り組んできました。その上で、本学の建学の精神である「至誠一貫」の心を備えた優れた医療人を世の中に送り出し、社会に大きく貢献するという理念のもと、「医系総合大学」として引き続き教育・研究・診療の発展に邁進すべく、平成 28 年度の事業計画を策定いたしました。

法人の事業においては、昨年度に引き続き本学創立 90 周年事業である「新上條講堂(仮称)建設事業」を推進し、建設工事に向け準備を進めます。また、創立 80 周年事業である富士吉田教育施設整備計画については、昨年度に引き続き第Ⅱ期－2 工事として体育館建設事業等を推進いたします。

学部教育においては、教育目標及びディプロマポリシーに基づき、カリキュラムの再編成・評価を継続して進めます。また、医学部新カリキュラムの主要な変更点である臨床実習について、国際認証条件に沿ったクリニカルクラークシップとして開始します。

大学院教育においては、拡充された奨学金制度の利用を推奨し優秀な学生の確保に取り組み、教育・研究・診療の向上に寄与し得る人材の輩出に努めます。

研究施設については、昭和大学研究所の一層の充実を図るとともに、共同研究施設の拡充を実施します。

各附属病院においては、医療の質をより一層向上させるとともに、引き続き健全な病院運営ができる体制を整えます。また、昭和大学病院と附属東病院の施設統合並びに電子カルテ導入についての計画を推進いたします。

本学の目的である教育、研究、診療の発展を達成する一助として、その収益を大学経営に充てるため収益事業を行うことの検討を進めてまいります。

このように、平成 28 年度も様々な事業計画を策定いたしました。この事業を推進し、本学を「日本一」の大学にするために邁進したいと考えておりますので、関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

学校法人 昭和大学
理事長 小口 勝司

学務運営の目標

昭和大学では、「社会に貢献する優れた医療人の育成」という建学の趣旨のもと、本学の更なる発展に努めております。

平成 28 年度の学務運営の目標といたしましては、本学のモットーである「至誠一貫」の精神をこれまでも増して体現すべく、変化する社会のニーズに合致した十分な知識、技能、態度を習得できるような学修体制の構築を目指します。

平成 28 年度の教育方針としては、引き続き各学部においてカリキュラムの見直し・再構築を推進するとともに、再編したカリキュラムについてはその評価を行い、一層の教育の充実を図ります。また、ポートフォリオの内容を見直し、より効果的な学生の到達度評価システムの構築を図ります。学生に対しては、講義に関する学生アンケートの回答率向上を図るとともに各講義担当者にフィードバックをすることで以後の講義の改善を図ります。

大学院においては、学部の 4・5・6 年次より大学院単位が履修できる「**Multi-Doctor (MD) プログラム制度**」の充実と特別奨学金制度の推奨により、優秀な学生の大学院進学を促進し、更なる知識と技術の修得により研究マインドの養成を目指します。

研究については、引き続き科学研究費等の競争的資金の確保に努めるとともに、4 学部・4 研究科が共同して研究を行い、また全学的組織である「昭和大学学士会」での研究発表の推進等により、研究の一層の充実を図ります。旗の台校舎においては、平成 27 年度に再整備を行った RI 共同研究室、電子顕微鏡室等を共同研究施設として総括的に管理運営することで、より効率的・効果的な研究を推進します。

その他、学生に対する支援では、昨年度より見直した指導担任制度並びに修学支援制度を一部変更して、更に充実したものを目指します。

これらの施策により、教育・研究・診療の成果を高め、本学の更なる発展を目指す所存でありますので、皆様のご支援とご協力をお願いする次第です。

昭和大学

学長 小出 良平

学校法人昭和大学 平成 28 年度事業計画

平成 28 年度は、本学の目的・使命に基づき、教育・研究・診療の発展に引き続き寄与するため、事業計画を策定し、以下の通り主要事業を推進します。

【主要事業】

I. 法人

(1) 新上條講堂（仮称）整備計画

創立 90 周年記念事業の一環として進めている新上條講堂（仮称）建設事業については、平成 29 年度着工に向け本格的な準備を進めます。

(2) 富士吉田校舎体育館建設事業等

創立 80 周年記念事業の第Ⅱ期-2 工事として昨年 9 月に着手した体育館建設事業等については、本年 11 月の竣工に向け新築工事を進めるとともに、新体育館周囲に歩道、ロータリー等を整備し、安全性の向上、良好な環境の創出に努めます。また、キャンパス隣接地の職員宿舎新築事業により、職員の住環境の改善を図り、もってより優れた教育の提供に貢献できる施設整備に努めます。

(3) 昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院の統合整備計画

昭和大学病院及び昭和大学病院附属東病院の効率的な運用並びに旗の台キャンパス C サイト構想をはじめとする法人全体の将来計画を視野に入れた合理的な運営を図るため、中央棟への新棟増築を含め平成 29 年度の統合に向けた整備を進めます。また、統合に併せて電子カルテを導入する予定であり、その準備を進めます。

(4) 藤が丘病院再整備計画

老朽化著しい藤が丘病院の機能を拡充し、その使命を果たすため、周辺の都市計画等を踏まえた将来計画の検討を進めます。

II. 教育

(1) 学士課程

①新カリキュラムの実施

新カリキュラムの実施にともない、臨床実習の更なる充実を図ります。また、カリキュラム策定時における学生教育委員の参加や講義に対する学生アンケートの各講義担当者へのフィードバック等、学生参加による教育面の一層の向上に努めます。

②ポートフォリオの見直し

ポートフォリオの内容を見直し、より効果的な学生の学修到達度評価システムの構築を図ります。

③PBL 教室の充実

段階的に整備を進めてきた PBL 教室の有効的な活用によるグループ学修を推進するとともに、引き続き少人数で落ち着いた学修環境の提供に努めます。

④医学教育分野別評価基準による点検評価

昨年度実施した「医学教育分野別評価基準による点検評価に向けての検討項目抽出プロジェクト」の答申内容に基づき、詳細な運用の策定と改善策の実行を担う組織として、(仮称)医学教育分野別評価受審準備委員会を立ち上げ、評価基準の充足に努めます。

⑤薬学部薬局実務実習の改革

平成 27 年度の薬学部薬局実務実習改革プロジェクトの答申を受け、附属 4 病院と実習薬局が連携・協力を密にし、より良い実習体制を構築することを目的として、薬学部薬局実務実習改革推進委員会を設置しました。この委員会にて、平成 31 年度の改訂コア・カリキュラムにおいて、本学の特色ある新しい薬局実務実習を実施するため、平成 29 年度からのトライアル実施に向けた準備を進めます。

(2) 大学院課程

①学外機関との連携

昨年度実質的な運用が始まった学外学修制度や、国内・国外の学外研修等を通して学外機関との密接な連携の下に、学生の多様なニーズに対応する学修プログラムの提供を図ります。

②保健医療学研究科各領域の開講科目検証

保健医療学研究科大学院博士前期課程において、教育効果の向上を目的として、各領域における選択科目を検証・評価します。

(3) 卒後教育

平成 29 年度から開始予定の新専門医制度導入に向け、(仮称)総合診療医学講座新設等の準備を進めます。

(4) 助産学専攻科

産科を有する本学附属 4 病院の特徴を生かした「助産実践能力の向上」のための助産師教育を充実させます。

(5) 学生支援

①図書館の充実

旗の台キャンパス図書館の閲覧スペースを増設し、学修環境の充実を図ります。

②指導担任制度・修学支援制度の更なる充実

昨年度制定した指導担任ガイドライン等に基づき、学生へのきめ細やかな支援・指導が行き届く体制下での運用を行うとともに指導担任制度の評価・改善を進めます。また、学業成績下位学生に対し、助教が学修面の支援を行う修学支援制度を昨年を引き続き実施、学生の成績底上げを図ります。

③特別奨学金制度等の周知

昨年度改正した学校法人昭和大学奨学金貸与規程により、奨学金貸与額の引き上げと返済猶予基準の緩和を有効に活用し、学生への経済的支援を行います。また、平成 26 年度に制定した学部学生の海外実習・研修に関する規程並びに大学院学生の海外渡航奨学金に関する規程を十分に周知し、学生海外実習・研修及び研究活動の充実を図ります。

III. 研究

(1) 研究所の整備・充実

「昭和大学研究所」として規定する腫瘍分子生物學研究所、臨床薬理研究所、発達障害医療研究所及びスポーツ運動科学研究所の 4 施設を中心に研究の一層の充実を目指します。また、臨床薬理研究所内に免疫腫瘍学寄附講座を新設します。

(2) 共同研究施設の設置

従来の共同施設(RI 共同研究室、遺伝子組換え実験室、基礎系電子顕微鏡室、動物実験施設等)に分析センター、共同利用機器等を加え再編し、共同研究施設として整備することで、総合的な管理・運営を行い、学部・研究科等を超えた研究の充実を図ります。

(3) 研究活動の推進

科学研究費補助金の申請増加及び採択率向上に向けて、各研究者への支援を行い、研究活動の推進に努めます。

IV. 国際交流

海外の姉妹校・協定校との活発な交流活動を推進するとともに、昨年度締結したマダガスカル共和国アンタナナリボ大学との医学部間協定を例に類似協定を含め協力連携施設の拡充に努めます。施設面では外国人宿舎のインターネット環境の充実等により留学生の受入環境を整備します。また、国際交流センター25周年を迎えるにあたり、記念誌発刊の準備を進めます。

V. 診療

(1) 病院運営の活性化

病院活性化推進プロジェクトの答申に則り、ER 診療体制・医師配置あり方、手術室運営合理化、一般病床混合病棟化、ベッドコントロールのあり方、患者サポートセンター運用等の検討・実施に取り組み、病院運営の活性化を図ります。また、昨年度より発足した病院運営企画会議が行うより良い病院運営のための企画・分析・検討や経営戦略情報室が行うデータ収集、解析等により合理的な経営を図ります。

(2) 最先端医療の提供

高度で先端的な医療の提供を推進するとともに、より安心・安全な医療の提供並びに良好・快適な環境の創出・提供のため、効果的な年次計画により医療機器・設備の整備・更新を進めます。

(3) 地域医療連携の推進

各附属病院の特徴を活かした診療の実施、病病連携、病診連携、紹介・逆紹介の推進等を通して、地域社会のニーズに対応した医療の提供に努めます。

(4) 電子カルテの導入整備

各附属病院における電子カルテ等の導入整備について、各附属病院の状況に応じた中長期計画により合理的に進めます。

(5) 新専門医制度への体制整備

新専門医制度の導入に向け、各診療科で昭和大学独自の専門研修プログラムを策定し、魅力ある専門医育成のための体制を整備します。

VI. 管理運営

(1) 管理運営体制の整備と円滑な大学運営

①活性化推進の活動

法人・大学活性化・病院活性化推進プロジェクトを引き続き実施し、運営上の問題点の顕在化と、その解決策を立案し、法人運営に迅速かつ具体的に反映させます。

②自己点検・評価活動の実施

特色ある本学独自の自己点検・評価を引き続き全学的に実施し、評価により抽出した問題点の改善・改革案を今後の中期的な課題として見直し、教育・研究・診療活動の充実に繋がります。

③寄付金募集活動の強化

本学創立 90 周年記念事業の一環である新上條講堂（仮称）建設準備の本格化、創立 80 周年記念事業の一環である富士吉田校舎体育館等の建設が進む等事業の本格的な進捗にともない、各々の募金活動も更に積極的に展開していきます。

また、支援者のニーズに即した「昭和大学サポート寄付金」の募集活動を促進します。

④収益事業実施に向けた寄付行為変更の検討

教育、研究、診療の発展を達成する一助として、その収益を大学経営に充てるため収益事業を行えるよう、寄付行為の変更を検討します。

(2) 施設設備の整備・活用

①教育環境の整備

各キャンパス並びに施設の状況を踏まえた年次計画の策定により、建物の補修、設備の更新等を図り、一層の安心・安全なキャンパス環境の確保に努めます。

②学内情報基盤環境の整備

学術情報基盤系システム更新、教育系基盤システム更新、富士吉田キャンパスネットワーク整備等を推進し、引き続き学内 ICT 環境の整備・充実に努めます。

③富士吉田校舎馬場・厩舎拡充整備

日本近代五種協会からの依頼により、本学富士吉田キャンパスを会場として開催予定の「第 56 回近代五種全日本選手権大会（本年 10 月開催予定）」及び「2017 近代五種アジア・オセアニア選手権大会（平成 29 年 10 月開催予定）」の実施に向け、富士吉田校舎の馬場及び厩舎の拡充工事を行うとともに、学生の課外活動環境の更なる充実を図ります。

④校地・校舎取得

本学の将来における様々な事業活動の可能性を考慮し、適切に校地・校舎の取得を行います。

(3) 広報活動の推進

テレビ CM 協賛、ラジオ時報 CM、フリーペーパー（EDUCE）、電車副駅名標広告・車内放送等を用いて、本学の知名度向上や、学生募集のための広報活動を戦略的に行います。また、昭和大学の統一したイメージを確立するため、昨年度制定した大学・病院名等の基本デザイン、大学の視覚表現（＝ビジュアル・アイデンティティ）、名刺・封筒等のアプリケーションデザイン活用等により、本学のブランディング戦略を強化します。

(4) 地域との連携強化・充実

昨年度、締結した富士吉田市との「包括的連携協力に関する協定」に基づき連携の強化に努めます。また、新たな自治体並びに機関・施設との連携協力に係る協定締結等を推進するとともに、本学各キャンパス並びに各施設と地域との連携を推進します。

主な事業計画

【法人】

- | | |
|--------------------------------------|--------------------|
| 1) 新上條講堂建設整備計画 | 7) 富士吉田校舎馬場・厩舎拡充工事 |
| 2) 旗の台キャンパスCサイト基本構想策定 | 8) 富士吉田校舎敷地内整備事業 |
| 3) 昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院の統合整備計画（新棟増築含む） | 9) 長津田運動場隣地整備事業 |
| 4) 藤が丘病院再整備計画 | 10) 保養所整理 |
| 5) 富士吉田教育施設整備計画（体育館建設工事） | 11) 旗の台校舎近隣施設整備 |
| 6) 富士吉田校舎職員宿舎新築工事 | |

【大学】

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1) 教育・研究施設整備 | |
| (1) 学術情報基盤システム更新 | (4) 富士吉田校舎プロジェクター更新・設置 |
| (2) 富士吉田キャンパスネットワーク整備 | (5) 富士吉田自然教育園整備 |
| (3) 図書館学習環境整備 | |
| 2) 施設・設備整備 | |
| (1) 大学1号館動物管理室系統空調機PAC-3・4更新工事 | (7) 大学7号館空調設備・熱源設備更新工事 |
| (2) 大学1号館外壁修繕工事 | (8) 医学部附属看護専門学校外壁補修工事 |
| (3) 大学2号館研究室系統空調設備更新工事 | (9) 富士吉田キャンパス3号館トイレ更新工事 |
| (4) 大学3号館各階実験台系統排水管更新工事 | (10) 富士吉田キャンパス赤松寮屋上防水・外壁改修工事 |
| (5) 大学3号館雑排水管縦配管更新工事 | (11) 富士吉田キャンパスSGSC耐震補強工事 |
| (6) 大学4・5号館各階ファンコイル更新工事 | |

【昭和大学病院】

1) 医療機器等

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| (1) 回診用 X 線撮影装置更新 | (9) 診療情報システム更新 |
| (2) 歯科用デジタルレントゲン更新 | (10) 放射線治療計画装置増設 |
| (3) 移動式デジタル式汎用 X 線透視診断装置更新 | (11) 内視鏡システム増設 |
| (4) 回転断層パノラマ X 線撮影装置更新 | (12) 経皮的循環補助システム更新 |
| (5) 自動採血管準備装置更新 | (13) 超音波診断装置更新 |
| (6) ウォッシャーディスインフェクター更新 | (14) 人工呼吸器更新 |
| (7) 長時間心電図解析装置更新 | (15) 生体情報モニタシステム更新 |
| (8) 運動負荷心電図検査装置更新 | |

2) 施設・設備整備（中央棟）

- | | |
|---------------------|------------------|
| (1) 中央監視・自動制御設備更新工事 | (2) SVC 用ベルト更新工事 |
|---------------------|------------------|

3) 施設・設備整備（入院棟）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| (1) 空調機更新工事 | (4) 蒸気ボイラー更新工事 |
| (2) 防排煙システム更新及び防災盤改修工事 | (5) ハロン消火設備更新工事 |
| (3) 単独給排気ファン更新工事 | |

【藤が丘病院】

1) 医療機器等

- | | |
|-----------------|---------------------|
| (1) 放射線治療システム更新 | (4) 内視鏡ビデオ画像プロセッサ更新 |
| (2) 手術用无影灯更新 | (5) 一般的電気手術器更新 |
| (3) 手術台システム更新 | (6) 超音波画像診断装置増設・更新 |

2) 施設・設備整備

- | | |
|---|-----------------------|
| (1) 放射線治療システム更新に伴う改修工事 | (5) 蒸気ボイラー更新工事 |
| (2) 外来改修工事（腫瘍センター移設・プレストセンター設置・細菌検査室改修） | (6) A 棟 3 階手術室手洗場改修工事 |
| (3) ICU 個室改修工事・ICU 前清掃区域化工事 | (7) 病理検査室移設工事 |
| (4) 病棟個室改修工事 | |

【藤が丘リハビリテーション病院】

1) 医療機器等

- (1) 細隙灯顕微鏡一式更新

2) 施設・設備整備

- (1) 中央監視更新工事

[スポーツ運動科学研究所]

1) 医療機器等

- (1) 肺運動負荷モニタリングシステム導入
- (2) 画像解析用高速モニタリング導入

2) 施設・設備整備

- (1) 事務室改修工事

[横浜市北部病院]

1) 医療機器等

- (1) 外科用移動形 X 線透視撮影装置更新
- (2) 検査動画ネットワークシステム更新
- (3) フルハイビジョン液晶ディスプレイ更新
- (4) 広画角デジタル眼撮影装置導入
- (5) 超音波診断装置更新
- (6) 遠心ポンプコントローラー更新
- (7) ハイブリッド手術室用バイプレーン導入
- (8) ハイブリッド手術室用ポリグラフ導入
- (9) 一般用ベッド更新
- (10) 電子カルテ一部更新

2) 施設・設備整備

- (1) ファンコイル整備更新工事
- (2) 病棟自動扉更新工事
- (3) 中央棟院内バイタルモニター用アンテナ改修工事
- (4) 手術室・救急センター改修工事
- (5) 床タイルカーペット交換工事
- (6) 消防用非常放送設備更新工事
- (7) 特高変電所機器更新工事

[江東豊洲病院]

1) 医療機器等

- (1) 病棟部門の機器備品導入
- (2) 頻脈性不整脈診断用 3D マッピングシステム導入
- (3) ICU 業務支援システム導入
- (4) 超音波血流計導入

[烏山病院]

1) 医療機器等

- (1) 電子カルテ・部門システム導入
- (2) ひかりトポグラフィ装置導入

2) 施設・設備整備

- (1) 冷温水発生機全分解整備工事

[歯科病院]

1) 医療機器等

- (1) 低温プラズマ滅菌器更新

2) 施設・設備整備

- (1) 1 階待合ホール改修工事

結 び

平成 28 年度の事業計画は、以上各号に述べたとおりであります。

私立大学を取り巻く社会・経済の状況は誠に厳しいものがありますが、今後とも各位の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月 25 日

学 校 法 人 昭 和 大 学